



といち

平成23年 6月30日
新宿区立戸塚第一小学校
校長 石井卓之
No.4

面影に追記して

校長 石井卓之

面影の巻頭に「教育職の醍醐味」という題で、私の教師としての歩みを若干紹介させていただく予定ですが、紙面の都合上、語りつくせていない部分があるので、学校だよりに書かせていただきます。

私は北区の小学校で初めて教壇に立ちました。両側をベテランの女性の先生二人に挟まれた、5年2組の担任でした。当時は、授業が終わると校庭で学級や学年の子供たちと遊ぶ毎日でした（校庭開放というものはまだなく、教師がいれば遊んでよいというルールでした）。私はさながら、ガキ大将として放課後の遊びに君臨していました。

日が暮れた後、教室に戻り、そこから次の日の授業の準備を始めたため、警備員さんから「石井先生、遊んでばかりいないで、先に準備をしてほしいですね。」と言われることがよくありました。でも、私は、一緒に遊ぶ中から子供たちの授業中からは分からない人間関係や人となりをつかむことができたので、1年間続けることにしました。当然のこととして、教え方や生活指導は、ベテランの先生に勝ることはできません。でも、ありがたかったのは、4月当初の保護者会で学級代表の方が、「石井先生には、教え方など、教師として必要な力はこれからだんだん勉強していただくとして、まずは、若さで子供たちと正面から向き合ってください。」と言われたことです。子供たちと向き合うために、私が選んだ一つの方法が、できるだけ多くの時間を子供たちと接することであり、放課後の遊びもその一環でした。

しかし、指導力の未熟さゆえに、苦い経験も数多くありました。特に、「トラブルといじめ」の違いが見抜けず、一人の女子の心に深い傷を残してしまったことは、今でも自戒の念に堪えません。当時私は、「子供たちのトラブルは、できるだけ子供たちの中で解決を図る。そのためには、教師はあまりトラブルに介入しない方がよい。」という、独り善がりの信念に基づいて学級を指導していました。そのため、班活動の中で日常的にぶつかっていた二人の女子に対して、「トラブルは自分たちで解決をするように。」と繰り返すばかりで、なぜトラブルが起きたのか、どう解決を図っているのかなど、その状況を細かく把握しようとしませんでした。私が気付かない間に二人のトラブルは、多くの子供たちを巻き込み、一人の女子に対するいじめへと進んでいました。その子が登校をしぶって初めていじめがあったことを知ったという不甲斐なさでした。その段階で学年主任の先生に相談をするなど、すべてが後手に回り、子供たちや支えてくださっていた保護者に、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

よく教師は、子供とともに成長すると言いますが、私は今までの人生の中で、本当に子供たちに教えられ、教師として成長してきたことを実感しています。そしてこれからは、校長として成長していきたいと考えています。

5年生 総合的な学習の時間「戸一小田んぼで稲を育てよう」



5年生の総合的な学習の時間では、社会科で学習した農業の知識を生かして稲作体験をしています。山形からJAの方が来校し、種もみを蒔くところから田植え、収穫、脱穀までの様々な過程をサポートしていただいています。

6月16日には、元気に育った苗を田植えしました。今年度は、ペットボトルを使った稲作に挑戦します。秋には黄金色の稲穂を実らせ、たくさん収穫できるよう頑張って育ててほしいと思います。



7月の行事予定

日	曜	朝会・集会	学校行事等	下校
1	金	集会	保護者会(1.3.4)	3:45
2	土			
3	日			
4	月	朝会	保護者会(2.5.6)	3:45
5	火		東京都学力調査(5)	3:45
6	水			1:00
7	木	読み聞かせ	避難訓練 委員会活動	3:45
8	金	運動	歯の学習(1.2.幼)9:30~10:30	3:45
9	土			
10	日			
11	月	朝会	安全指導 ピカピカウイーク	3:45
12	火			3:45
13	水	たて③		2:20
14	木	音楽	クラブ活動	3:45
15	金		着衣泳 ↓	3:45
16	土		富士まつり	
17	日			
18	月		海の日	
19	火	生活	給食終 大掃除	3:45
20	水		終業式	12:20
21	木		夏季休業日始 個人面談始 夏季水泳指導①	
22	金		夏季水泳指導②	
23	土			
24	日			
25	月		夏季水泳指導③	
26	火		夏季水泳指導④	
27	水		夏季水泳指導⑤	
28	木		夏季水泳指導⑥	
29	金		夏季水泳指導⑦ ↓	
30	土			
31	日			

算数少人数指導について

4年生、5年生、6年生の算数の授業を対象に、2つの学級を3人の授業者でみる少人数指導を取り入れています。少人数だからこそ活かせる学習活動を行えるように心がけています。先日の、5年生の体積の学習での一コマです。

公式を用いて体積を求めることができるようになった子供たち。次の課題は「厚さ1cmの板で作った直方体の形をした容器には、何cm³の水が入るでしょう」というものでした。子供たちはこれまで学習してきたことを生かして考えています。すると、3種類の答えが出ました。「いったいどれが正しいだろう。はたまた、どれも正しくないのだろうか。」こんな疑問を解決するため、子供たちは図や容器の模型を見ながら友達と意見を出し合い、正解を導いていました。

一人一人が図や模型を目の前にしながら考えること、一人一人の活躍の場が増え、学習に対して達成感をもつこと、このような少人数の余裕を生かした学習ができるよう工夫を重ねています。

委員会活動について

委員会活動は9委員会が設置され、5・6年生全員が活動しています。

学校行事などを企画する計画委員会。本の整理や紹介、休み時間に本の貸し出しをしている図書委員会。校内行事の予定や様子を壁新聞で紹介している情報委員会。流し場の石鹸の管理や水質検査をする保健給食委員会。球根を植えたり、植物に水をあげたりする栽培委員会。一輪車の片付けや、スポーツギネスの記録・測定を行う運動委員会。毎日ウサギの世話をする飼育委員会。時間を守って生活できるように下校放送をしている放送委員会。児童集会で楽しいクイズやゲームを行う集会委員会。

いつも目につくというような華やかな活動ばかりではありませんが、高学年の子供たちは、戸一小的代表として、なくてはならない役割を分担しながら自ら進んで活動しています。

7月の生活目標

みんなで使うものを
大切にしよう